



2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年1月25日

上場会社名 エムケー精工株式会社
 コード番号 5906 URL <https://www.mkseiko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2019年2月1日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 丸山 将一
 (氏名) 小林 文彦
 TEL 026-272-0601

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年3月21日～2018年12月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	18,420	15.2	1,367	13.1	1,425	17.7	1,042	33.1
2018年3月期第3四半期	15,990	2.2	1,209	7.0	1,211	7.1	783	5.3

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 907百万円 (7.4%) 2018年3月期第3四半期 845百万円 (9.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	71.90	
2018年3月期第3四半期	54.01	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	26,913	11,562	43.0	797.32
2018年3月期	20,856	10,770	51.6	742.72

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 11,562百万円 2018年3月期 10,770百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		8.00	8.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年3月21日～2019年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	12.3	1,000	17.9	1,000	15.8	700	46.5	48.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2019年1月25日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	15,595,050 株	2018年3月期	15,595,050 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	1,093,905 株	2018年3月期	1,093,905 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	14,501,145 株	2018年3月期3Q	14,501,193 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期第1四半期決算短信」より、日付の表示方法を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続き、全体として緩やかな景気回復基調で推移いたしました。海外経済においては、米中の通商問題の動向が世界経済に与える影響や金融資本市場の変動による影響など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループ関連業界におきましては、オート機器の分野では、活発な設備投資が続き堅調に推移しましたが、情報機器及び生活機器の分野では、市場の伸び悩みや激しい価格競争により厳しい経営環境が続いております。

こうした状況のもと、今年度創立70周年を迎えた当社グループは、新たな成長フェーズへ踏み出すべく、コーポレートスローガン「その手があった！の一手先。」の制定に続き、当社グループの使命や価値観・考え方の統一を図り企業理念を刷新しました。また、既存ビジネスの深耕と隣接分野への拡張によって事業領域の拡大を図り、持続的な成長と中長期的な企業価値向上の実現に向けて全社的な改革に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は184億2千万円（前年同期比15.2%増）、営業利益は13億6千万円（前年同期比13.1%増）、経常利益は14億2千5百万円（前年同期比17.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億4千2百万円（前年同期比33.1%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(オート機器事業)

主力の門型洗車機は、SS向け洗車機が政府補助金制度の対象から外れた影響により伸び悩みましたが、カーデューラー向け洗車機が新機種効果により伸長しました。また、元売統合によるSSのリニューアル需要増によりサービス部門の売上が伸長し、オイル機器では、政府補助金制度の活用により灯油配送ローリーが好調に推移しました。その結果、売上高は前年同期比3.8%増の110億2百万円となりました。

(情報機器事業)

フルカラー大型表示機は前年同期に比べ案件数が下回ったものの、官公需向けは堅調に推移しました。また、SS向け看板及び道路工事用表示機が好調に推移し、売上が伸長しました。その結果、売上高は前年同期比23.7%増の13億6千万円となりました。

(生活機器事業)

農家向け商材主力製品の低温貯蔵庫や保冷米びつ、一般家庭向け商材の電子レンジ置き台は、消費動向の冷え込みと同調し厳しい状況で推移しました。一方、新発売した小型保冷米びつや黒にんにくメーカー、またワイヤレステレビスピーカーなどの耳関連商品は好調に推移したほか、新規参入した食品加工機械が売上伸長に寄与しました。その結果、売上高は前年同期比40.4%増の42億7千5百万円となりました。

(住設機器事業)

主として子会社の株式会社ニューストが行う事業で、木・アルミ複合断熱建具、反射板式消音装置等を製造・販売しております。建設業界では、殊に現場作業を担う人手不足の深刻化により工期遅延の影響が続く中、第4四半期に集中していた施工物件の分散化により、売上高は前年同期比49.6%増の16億4千8百万円となりました。

(その他の事業)

保険代理業、不動産管理・賃貸業、及び長野リンデンプラザホテルの運営に係るホテル業が主体となります。ホテル業は、お客様のニーズを踏まえたサービス品質の向上に努めておりますが、価格競争による厳しい環境が続いております。その結果、売上高は前年同期比3.7%減の1億3千2百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ60億5千6百万円増加し269億1千3百万円となりました。流動資産は43億7千万円増の153億円、固定資産は16億8千6百万円増の116億1千3百万円となりました。これは主に事業の閑繁等の季節的要因に伴い受取手形及び売掛金が26億7百万円増加、たな卸資産が7億3千3百万円増加したこと、のれんが10億3千1百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の合計は、前連結会計年度末に比べ52億6千4百万円増加し153億5千1百万円となりました。流動負債は28億9百万円増の107億9百万円、固定負債は24億5千4百万円増の46億4千2百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が5億9千6百万円増加、短期借入金が21億7千5百万円増加、長期借入金が23億7千5百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ7億9千1百万円増加し、115億6千2百万円となりました。これは主に利益剰余金が9億2千6百万円増加、その他有価証券評価差額金が1億5千9百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年4月27日に公表しました2019年3月期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2019年1月25日)公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,714,974	2,859,620
受取手形及び売掛金	4,198,938	6,806,813
商品及び製品	1,796,069	1,788,295
仕掛品	1,322,583	1,691,085
原材料及び貯蔵品	1,476,289	1,848,622
その他	447,096	339,592
貸倒引当金	△26,048	△33,792
流動資産合計	10,929,903	15,300,238
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,340,145	2,389,947
機械装置及び運搬具(純額)	434,913	460,820
土地	2,977,678	3,523,229
その他(純額)	616,886	622,461
有形固定資産合計	6,369,623	6,996,458
無形固定資産		
のれん	512,718	1,544,306
その他	464,222	575,436
無形固定資産合計	976,941	2,119,743
投資その他の資産	2,580,455	2,496,887
固定資産合計	9,927,020	11,613,089
資産合計	20,856,924	26,913,327

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	926,201	1,522,349
短期借入金	1,680,000	3,855,000
1年内返済予定の長期借入金	949,043	671,232
未払金	3,224,583	3,448,363
未払法人税等	211,336	340,322
引当金	499,727	310,674
その他	408,482	561,353
流動負債合計	7,899,374	10,709,296
固定負債		
長期借入金	1,200,988	3,576,751
退職給付に係る負債	113,891	171,473
その他	872,414	893,805
固定負債合計	2,187,294	4,642,029
負債合計	10,086,668	15,351,325
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,373,552	3,373,552
資本剰余金	2,951,143	2,951,143
利益剰余金	4,375,279	5,301,960
自己株式	△510,457	△510,457
株主資本合計	10,189,518	11,116,199
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	413,676	253,934
繰延ヘッジ損益	△13,229	211
為替換算調整勘定	52,788	64,418
退職給付に係る調整累計額	127,502	127,238
その他の包括利益累計額合計	580,737	445,802
純資産合計	10,770,256	11,562,001
負債純資産合計	20,856,924	26,913,327

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年3月21日 至 2017年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月21日 至 2018年12月20日)
売上高	15,990,280	18,420,572
売上原価	10,478,059	12,274,535
売上総利益	5,512,221	6,146,037
販売費及び一般管理費	4,303,089	4,778,969
営業利益	1,209,132	1,367,067
営業外収益		
受取配当金	32,709	31,339
その他	40,371	93,548
営業外収益合計	73,081	124,887
営業外費用		
支払利息	45,958	51,407
その他	24,809	14,833
営業外費用合計	70,768	66,241
経常利益	1,211,445	1,425,713
特別利益		
固定資産売却益	55	—
負ののれん発生益	—	186,518
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	56	186,518
特別損失		
固定資産除売却損	3,956	386
投資有価証券評価損	—	19,178
ゴルフ会員権評価損	—	420
特別損失合計	3,956	19,984
税金等調整前四半期純利益	1,207,545	1,592,247
法人税、住民税及び事業税	352,147	489,589
法人税等調整額	72,172	59,968
法人税等合計	424,319	549,557
四半期純利益	783,225	1,042,689
親会社株主に帰属する四半期純利益	783,225	1,042,689

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年3月21日 至 2017年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月21日 至 2018年12月20日)
四半期純利益	783,225	1,042,689
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	130,058	△159,741
繰延ヘッジ損益	△18,973	13,441
為替換算調整勘定	△67,306	11,629
退職給付に係る調整額	18,146	△264
その他の包括利益合計	61,924	△134,934
四半期包括利益	845,149	907,755
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	845,149	907,755

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年3月21日 至 2017年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	オート機器 事業	情報機器事業	生活機器事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	10,604,341	1,100,013	3,046,091	1,101,805	138,029	15,990,280	—	15,990,280
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,128	53,657	382,723	35	110,703	548,248	△548,248	—
計	10,605,470	1,153,670	3,428,814	1,101,841	248,732	16,538,529	△548,248	15,990,280
セグメント利益又は 損失(△)	1,688,872	39,450	289,142	△35,909	45,463	2,027,018	△817,886	1,209,132

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△817,886千円には、セグメント間取引消去13,756千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△831,643千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年3月21日 至 2018年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	オート機器 事業	情報機器事業	生活機器事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	11,002,132	1,360,835	4,275,935	1,648,744	132,924	18,420,572	—	18,420,572
セグメント間の内部 売上高又は振替高	746	66,615	384,046	4,677	115,609	571,694	△571,694	—
計	11,002,878	1,427,450	4,659,981	1,653,422	248,534	18,992,267	△571,694	18,420,572
セグメント利益又は 損失(△)	1,726,926	165,682	387,076	32,118	38,681	2,350,484	△983,417	1,367,067

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△983,417千円には、セグメント間取引消去8,953千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△992,370千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。